

港湾のC I Q体制の充実について

【 農林水産省 】

提案の内容

浜田港を家畜伝染病予防法に基づく動物検疫指定港に指定すること。

【 現状と課題 】

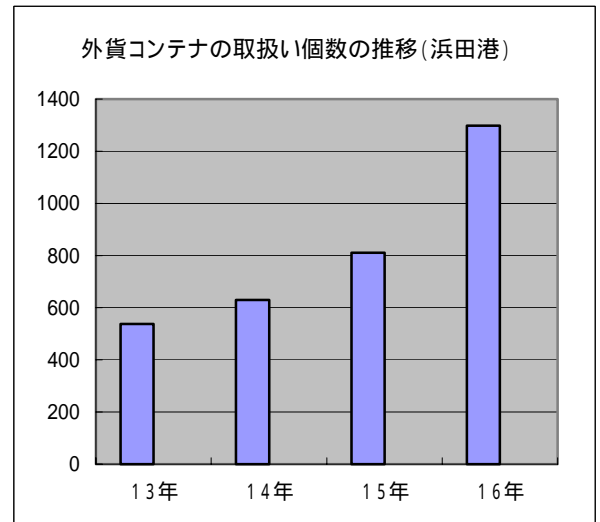
浜田港の利便性の不足とコンテナ貨物目標取扱量への伸び悩み

重要港湾浜田港は、本県西部地区の国際物流拠点であり、平成13年3月には釜山港との国際定期コンテナ航路が開設され、官民一体となってポートセールスを行い、コンテナ貨物取扱量の拡大に努めている。

目標コンテナ量2500個/年

輸入稲わら飼料の需要増加

県内の畜産業においては、県西部を中心に経営の大規模化が進み、肥育牛飼料が国内産から安くて安定供給が可能な輸入稲わらへ移行している。



【 本県の取組状況・方針 】

浜田港の利便性向上とコンテナ貨物取扱量の拡大

- ・ 浜田港は、本県西部地区の国際物流拠点として整備が進められてきたが、平成13年3月には釜山港との間に国際定期コンテナ航路を開設した。
- ・ 利用者の利便性の向上に努めるとともに官民一体となってポートセールスを行い、コンテナ貨物取扱量の拡大を図っており、今後も引き続き浜田港振興に向けて取り組んでいく。
- ・ コンテナ施設使用料及び野積場使用料については減免措置を実施して、港利用の促進を図っている。



重要港湾浜田港の全景

【 提案要望の効果 】

コンテナ貨物取扱量の拡大が期待でき、浜田港振興が図られるとともに、石見地域の経済活性化に寄与できる。